

政策評価のための 因果関係の 見つけ方

ランダム化比較試験入門
エステル・デュフロ・レイチェル・グレナスター
マイケル・クレマー(著) 伊藤公一(訳)

小林庸平(監訳) 石川貴之・井上領介・名取 賢(訳)
近年、注目を集める因果推論。その代表的な手法であるランダム化比較試験(RCT)を用いた政策効果の測定方法を、第一人者が解説。 ■本体2,300円+税

経済学史

野原慎司・沖 公祐・高見典和(著)
どのような時代的必要性にせよ、経済学理論が生まれたのか。理論の概略にふれつつ、18世紀から現代までの経済学説史を追う。 ■本体2,700円+税

私たちが 国際協力する理由

紀谷昌彦・山形辰史(著) 人道と国益の向こう側
自国第一主義が台頭し、日本でも経済問題や高齢化が問題視される今、私たちは国際協力をどのように考え、実践していくべきか? ■本体1,700円+税

資本主義は どこに向かうのか

堀内 勉・小泉英明(編著)
「資本主義の教養書 公開講演会」連日大盛況の熱演を紙上で再現! 学界・業界を超えてさまざまな観客が集結し、資本主義の行方と限界を熱く論じる。中島隆博/大澤真幸/岡本裕一朗/洪沢 健/安田洋祐/太田博樹/松尾 豊/水野和夫/小野塚知二/広井良典 ■本体2,800円+税

ERINA北東アジア研究叢書⑩ 「一帯一路」経済政策論

ブラット・フォーラムとしての東アジアを読み解く
穆 亮平・徐一睿・岡本信広(編著)
本書では中国国内の経済政策としての意味や影響を検討していく。 ■本体4,700円+税

医療マーケティング

真野俊樹(著)
医療にもマーケティング思考が必要であることをわが国で初めて提起した基本書。内外の最新データ・ICTの進化等を盛り込み刷新。 ■本体2,300円+税

経済セミナー ⑧・⑨

消費税で入門! 公共経済学

消費税率の改定を機に、税と政府の役割、さらには公共経済学の役割について、日本の事例やデータを紹介しつつ考えたい。
【対談】消費税と社会保障のゆくえ…佐藤主光×鈴木 直樹
消費税は景気を悪くするの?…平賀一希
消費税と地方財政の関係は?…上村敬之/なぜ消費税を上げるのは難しいのか?…小林 航/なぜ消費税を上げるのか?…西村幸彦/行動経済学は税制を変えるのか?…國枝繁樹 ■本体1,380円+税

日本評論社

〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4
TEL:03-3987-8621 https://www.nippon.co.jp/

抱えていた。
しかし99年から不良債権処理を進めた結果、2019年には、中国資本の銀行136行が、英国の銀行業専門誌「ザ・バンク」の「世界銀行トップ1000」ランキングに入り、14位を4大国有商業銀行が独占するに至っている。
銀行の不良債権処理のために設立された四つの金融資産管理会社(A MC)は、処理を通じて金融業に関わるほぼ全てのライセンスを手に入れた。今では、巨大な金融コングロマリットとなり、中国の金融にとって不可欠の存在となっている。
また、A MCの専横だったデット・エクイティ・スワップ(負債と資本の交換による財務改善手法)を解禁された銀行や保険・証券・信託会社は、不良債権処理を通じて経営基盤を強化し、巨大な「不良債権業界」が

重層構造で形成されている。
こうして世界に類を見ない特殊なシステムを形成した中国の金融経済を、本書は簡潔明快に解説する。日本人4人と中国人6人からなる執筆陣は、いずれも各分野の第一人者で、過剰債務・不良債権処理・海外投資・人民元国際化などの現在話題の論点を含む幅広いテーマを、客観的かつコンパクトに論じており、大学・大学院のテキストにも使える。
さらに、国際収支・マネー・アウトフローが改訂され、金融収支における資金の流出超が赤字から黒字に変更されたのに、中国は赤字のままになっていることなど、中国の統計を分析する上で重要な注意が記されている。
主要な金融用語の日本語・中国語・英語の対訳一覧を巻末に掲げ、索引も備えており、研究にもビジネスにも極めて有用である。

Book Review

1が取められており、第Ⅲ部で保育政策への提言が示されている。
インタビュアーでは、保育サービスの需給調整を難しくする要因が次々に紹介される。ここに登場する事業者、自治体関係者の発言は現実感に裏打ちされており、自信にあふれている。改めて、時代の先頭に立って、数々の障害を乗り越えてきた方々に敬意を表したい。
いくつかの例を示そう。まず、保育士の国家試験が必要以上に難しい。本書に問題の実例が出ているが、確かに無駄に多い。これは、問題を独占的に作成しているのが、養成学校の団体であり、国家試験の合格者を少なくすることが自らの利益になるからだ。全く分りやすくかつあつせんとするような話である。
コストのかかるゼロ歳児保育が無駄に増えているということもある。

育児休業期間終了後の1歳児を保育園に送るとすると、ゼロ歳児からの持ち上がりによって枠が埋まっているので、意図に反してゼロ歳児保育を選択してしまうのだ。
既得権益を守る手段が与えられており、本来は必要とされないコスト高の保育需要を増加させる制度になっている。待機児童が増えるわけだ。
しかし、保育料の値上げという、経済学者であれば誰もが支持する方策はあまりにも抵抗が大きすぎるのが現状だ。待機児童を解消していくためには、既得権益に結びついた政治的圧力を排しつつ、制度的な矛盾を地道に解きほぐしていかなければならない。こうしたさらけ取るべき対策については、最後に八田氏による詳細な解説がある。保育に関心を持った多くの人々に読んでほしい本だ。

中国は金融超大国である。国内預金額は190兆円(約3000兆円)を超え、世界1位で日本の約4倍の水準である。中国の株式市場の時価総額は日本を抜き世界2位で、資金調達額は世界1位である。その上、アリババや Tencent などのフィンテック(ファイナンステクノロジー)企業により、中国ではキャッシュレス経済が完成しつつある。
文化大革命で銀行が完全廃止され

て金融が消滅した状態から、改革開放後の40年間でここまで急速に発展した中国の金融経済は、極めて特殊であり、理解が困難である。
例えば、中国の商業銀行は、アジア通貨危機後の1990年代末に、不良債権率が39.44%に達した。4大国有商業銀行(中国工商銀行、中国建設銀行、中国農業銀行、中国銀行)だけで中国の国内総生産(GDP)の約25%に相当する不良債権を

Book Review

『中国の金融経済を学ぶ』

加速するモバイル決済と国際化する人民元

小原篤次(長崎県立大学准教授)
神宮健博(野村総合研究所(北京)金融イノベーション研究部長)
伊藤門(東京大学大学院経済学研究員)
藤田(大阪産業大学教授)

ミネルヴァ書房
3000円

世界に類のない中国金融界 簡潔・明快に解説

評者 田代秀敏
(シグマ・キャピタルチーフエコノミスト)

編著者の他に、執筆として王連平(独協大学教授)、王雷軒(農林中央総合研究所研究員)、戴輝(中央财经大学教授)、彭俞超(中央财经大学講師)、李立栄(京都先端科学大学准教授)、露口洋介(帝京大学教授)の各氏。



Book Review

『待機児童対策 保育の充実と女性活躍の両立のために』

編著者 八田達夫(アジア成長研究所理事長)

日本評論社
2200円



女性の子育てと就業の両立を図ることは、少子化対策の中心的課題である。しかし、希望する保育所に入れない待機児童が発生しているという問題は、その中心的課題がうまく処理されていないことを示している。本書は、その待機児童が発生するメカニズムを探り、現実的な解決策を提案しようとするものだ。
待機児童問題は優れて経済的な問題である。待機児童の存在は、保育

サービスの需要が供給を超過し、それが調整されていないことを示している。普通の財・サービスでは、価格が調節するのでこんなことはない。本書を読むと、なぜ保育については超過需要が発生してしまうのか分かる。
本書の第1部では、八田氏が開き手となって、革新的な民間事業者への、第2部は同じく革新的な取り組みをしてきた自治体へのインタビュー

需給調整を困難にする 既得権益構造を指摘、提言も

評者 小峰隆夫(大正大学教授)

編著者のほかインタビュー・ゲストとして中村紀子氏(ボビンスホールディングス会長)、西村幸孝氏(社会福祉法人みんなのうちの理事長)など。執筆に八代尚宏氏(昭和女子大学特命教授)。



書評欄の書籍の価格は本体価格です。